

第10回 「元気センター（仮称）」建設委員会 次第

日時:令和4年 10月18日(火)

午後6時30分～

会場:松川町役場 議場

1、開 会

2、町長あいさつ

3、会議事項

1) 9/29 議員協議会の内容の確認について

2) 運営の方針について

3) その他

9/29 議員協議会での意見について

- ①利用者の利便性を考えたほうが良い。全館下足というのは議会の総意ではない。
- ②せっかく事業所の方たちにも来てもらっている。事業所の方たちの意見も聞きたい。
- 親愛の里
- ◇上足・下足でエリアを分けると活動自体の敷居が高くなる。
 - ◇建物内でエリア分けをするとスムーズにいかない。
 - ◇今現在の過ごし方が変わるの不安がある。
- 社会福祉協議会
- ◇利用者が上足を希望している。
 - ◇共生社会は誰もが支え合って生きていくということだと思う。
 - ◇心身が不自由な方に健常者が合わせる。
 - ◇元気センターは地域共生社会の拠点にはなると思うが、元気センターだけで地域共生社会が完結する訳ではない。
 - ◇施設内に興味があるものやイベントがあれば下足を脱いで施設内に入ってくる。
 - ◇施設内の一部を上足エリアにすると靴を脱ぎ履きする回数が多くなる。高齢者にとっては何度も脱ぎ履きするのはきつい。
 - ◇現在利用している利用者に意見を聞いてきた。利用者は全員靴を脱いで過ごしたいとのことだった。
 - ◇玄関で靴を脱がせたい。何回も脱ぎ履きをすると転倒のリスクが高くなる。
- ③現状の元気センターにはがっかりしている。ごちゃまぜではなく縦割りになっている。福祉に関しても今までの概念を取り払う必要がある。
- ④上足というのはスリッパの事か。下足の場合、災害時に避難する際に履き替える必要がなくなる。上足の場合、トイレに入る際はどうするのか。
- 町
- ◇基本的に裸足（靴下のみ）を考えている。トイレに入る際はトイレ用のスリッパを用意する。災害時対応として、各出入口に付近に緊急避難用の外履きを用意する等の対応はしていく。
- ⑤上足、下足については特にこだわりはない。せっかく建設委員会があるので建設委員会の意見で良い。
- ⑥将来を見据えて意見を言った。将来の福祉についての意見が聞きたい。
- 親愛の里
- ◇外に出る時、中に入る時には履き替えるというルールを子供たちには学んでほしい。下足のまま入ってきて、どこからでも出られるようだとルールが学べない。

→社会福祉協議会

◇将来だって心身の衰えは同じくやってくる。現状で考えていくしかないのではないか。

◇元気センターだけでなく、地域も巻き込んで共生社会を生み出していく必要がある。

- ⑦日本人としての感覚を大事にしてほしい。
- ⑧現在の延長じゃないとダメということはない。新しい施設にするならチャレンジが必要。
- ⑨冬場は靴下で活動していて寒くないのか。全館床暖になるのか。
- ⑩今一度、町としてどのような運営をしていくのか、そのあたりの思いを確認したい。

→町

◇全館床暖房を計画している。

◇この施設の根本は「複合福祉施設」である。主たる対象者を元気センター内で実施する事業の利用者にした。ただ、全町民の「居場所」づくりをしていることから、様々な方に利用して頂けるような仕組みづくりを構築していく。今の段階で靴を脱いで「利用したい」というニーズがある為そのように対応するが、後々はその時のニーズによって対応を検討していく。みなさんがイメージしている「ごちゃまぜ」はひとつの大きな部屋で皆が過ごすことだと思いが、町が作り上げたいイメージはそれぞれの利用のプライバシーを守りつつ、お互いの場所を行き来することによって生まれる交流である。

- ⑪自分は下足派。当初は「ごちゃまぜ」というコンセプトだったはず。町民に集まりたいと思わせる目的が必要になってくる。町は仕事をした気になっていただけで全く仕事をしていない。
- ⑫現場の声が聞いて良かった。下足・上足どちらにも一長一短がある。佛子園と比べているが都会の福祉と田舎の福祉は違う。そういったところへの理解が必要。
- ⑬事業を利用する方と一般の方が両方入ってこれるような共存が必要。より良い施設にしていく必要がある。
- ⑭利用していない人には意見を聞いたのか。

→町

◇建設委員会に一般公募の方がいる。その方の意見として、心身が不自由な方に健常者が合わせるといった意見だった。

共用スペースの利用想定

※金銭受領発生が想定される個所

展示・販売コーナー

- ・一般の方々などの作品を展示。可能ならここで委託販売も展開したい。その際の金銭のやり取りは事務室対応を想定。

軒下広場

- ・一般の方々がイベントやマルシェを展開。その際、金銭のやり取りが発生する場合は、出展者対応を想定。

まちカフェ

- ・一般の方々がイベントやマルシェ、ワンデイオーナーなどを展開。その際、金銭のやり取りが発生する場合は、出展者対応。

調理室

- ・専従の飲食事業者に入っていただく予定。金銭のやり取りは事業所対応を想定。

事務室（行政職員3名、親愛スタッフ3名のうちだれかしらは常駐予定）

- ・コンシェルジュ機能有。展示販売コーナーでの委託販売対応を想定。